





# できる! できる! できる!

10段跳び箱で6歳園児が起こした奇跡の動画が話題となりました。

ある幼稚園児の子が、お母さんが病気となり、卒園式を待たずに引っ越すことになりました。卒園式までいられないその子のために、2月の発表会で、10段跳びを披露する場が設けられました。この園では、卒園式で10段の跳び箱を飛ぶために、年少のころからみんなで跳び箱を練習してきました。



小さい頃から泣き虫で甘えん坊だったその子は、この10段跳びを成功させて、病気のお母さんを安心させたいという思いを込めて飛ぼうとしますが飛べません。涙を拭いて何度も何度も挑戦します・・・その時、年長の園児たちが起こした行動は、その子を囲んで輪になり、

「できる! できる! できる!」と唱えました。その直後、その子は見事に10段跳びを成功させました。

お母さんを大切に思う気持ちと、友達がその子を想う気持ち、すべてがつながり合っけて起こしたこの奇跡、深い愛に心が洗われました。

否定され続けた子どもは、どうせ無理、自信がないと言って、自分の可能性にフタをして、あきらめ方を覚えます。人は産まれたときから自信のない子どもはいません。子どもはやったことがないから失敗をします。いかに失敗をした経験をプラスに転じてやるか、いかに子どもの可能性を現実のものにしてやるかが大切だと思います。

自信を取り戻す言葉は、「できる! できる! できる!」です。

## 「受身」

柔道の基本は受身

受身とはころぶ練習 負ける練習 人の前にぶざまに恥をさらす稽古

受身が身につけば達人 負けることの尊さがわかるから (相田みつを)



長い人生には、かっこよく勝つことよりも、ぶざまに負けたりだらしく恥をさらしたりすることの方がはるかに多いです。そのかわり、転んでもすぐ起き上がる、負けてもすぐ立ち直る、それが受身の極意です。そして、負け方や受身の本当の身に付いた人間が、世の中の悲しみや苦しみに耐えて他人の胸の痛みを心の底から理解できる、やさしい、あたたかい人間になれるのです。

